

## 周術期呼吸リハビリテーションに関する臨床データの研究利用に関するお願い

茨城東病院胸部疾患・療育医療センターリハビリテーション科では、以下の研究を進めております。以下の文章をお読みになり研究の趣旨に賛同頂ける場合、ご協力願えますと幸いです。

### 【研究の名称】

肺切除術施行自験症例における術後在院日数に影響する因子の検討-理学療法の観点から

### 【研究の目的】

肺切除術における周術期呼吸リハビリテーションは、術後合併症や血栓予防の為に術後早期から歩行を行い、また術後の疼痛により、痰が中々出せないこともある為、術前後に痰を出す訓練を行うことが知られています。当院でも、術後の早期離床・呼吸器合併症予防の為に、術前より患者教育を含めてリハビリテーションを開始しています。当院における周術期呼吸リハビリテーションプログラムを充実させる為、術後在院日数に影響を与える因子の検討が必要と考えました。

### 【研究対象者】

2018年12月から2019年4月の間に周術期呼吸リハビリテーションの依頼があった肺切除術の患者さん。

### 【研究期間】

2018年12月から2020年8月。

### 【研究方法】

診療録に基づき、基礎的情報(年齢、性別、血液データ、肺機能検査等)や術前の理学所見(筋力、バランス機能、歩行速度、歩行距離)、手術関連情報として、手術時間、出血量およびドレーン挿入期間をカルテより収集させて頂き、解析を行います。

### 【倫理審査委員会での審査および研究機関の長の許可】

本研究は、茨城東病院胸部疾患・療育医療センターにおいて、すでに倫理委員会の審査並びに研究機関の長の許可を受けたうえで実施されています。

### 【情報管理について責任を有する者】

茨城東病院胸部疾患・療育医療センター リハビリテーション科 伊藤輝理学療法士

**【研究内容の開示について】**

本研究の結果は、専門の学術雑誌に掲載されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。患者さんの個人情報が外部に公表されることは一切ありません。

**【本研究への参加を希望されない場合】**

患者さんが本研究への参加を希望されず情報の利用または提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡下さい。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えあい場合もございます。

**【お問い合わせ先】**

茨城東病院胸部疾患・療育医療センター：〒319-1113 茨城県那珂郡東海村照沼 825

所属：リハビリテーション科 担当：伊藤輝理学療法士

電話：029-282-1151(月～金 8：30～17：15)